

令和元年度 決算状況

令和元年度の一般会計の歳入は248億6,970万円、歳出は238億4,617万円、各会計別決算は表のとおりです。金額は1万円単位に端数処理しています。
 問合せ 財政課財政係 ☎内線4041 1003365

各会計の決算額

▶ 一般会計及び特別会計

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	248億6,970万円	238億4,617万円
特別会計		
国民健康保険	58億6,627万円	58億1,706万円
後期高齢者医療	6億3,294万円	6億3,276万円
介護保険	58億63万円	57億7,481万円
簡易水道事業	3億7,780万円	3億7,780万円
下水道事業	13億3,556万円	13億1,530万円
農業集落排水事業	1億5,681万円	1億4,790万円
電気事業	1,982万円	1,848万円

▶ 水道事業

区分	収入	支出
収益的収支	3億9,605万円	3億4,819万円
資本的収支	4,050万円	1億4,661万円

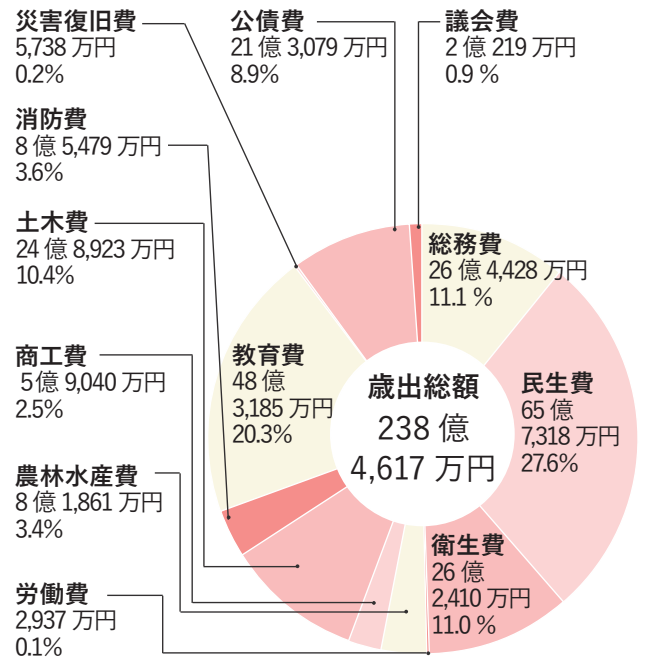
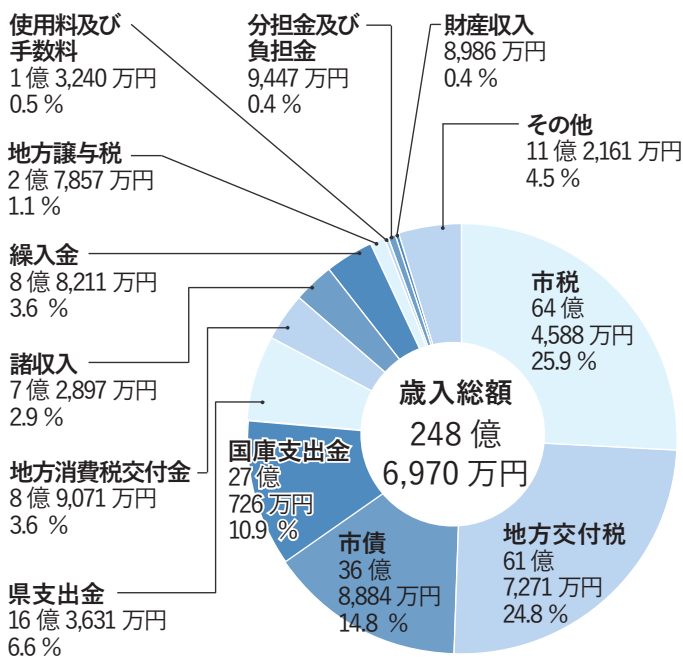
▶ 市民1人当たりの歳入と歳出

歳入 52万8,266円 歳出 50万6,525円

▶ 1世帯当たりの歳入と歳出

歳入 121万1,383円 歳出 116万1,528円

一般会計決算額の内訳



「地方公共団体の財政健全化に関する法律」に基づく 健全化判断比率・資金不足比率

令和元年度決算に基づく本市の状況は次のとおりです。

▶ 健全化判断比率(単位:%)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
本市の指標	赤字額なし		8.5	85.6
早期健全化基準	12.89	17.89	25.0	350.0

▶ 資金不足比率(単位:%) 各公営企業の資金不足額の程度を示す指標

区分	水道事業会計	簡易水道事業特別会計	下水道事業特別会計	農業集落排水事業特別会計	電気事業特別会計
本市の指標	資金不足額なし				
経営健全化基準	20.0				

健全化判断比率について、実質赤字額および連結実質赤字額はありませんでした。また、実質公債費比率および将来負担比率は、早期健全化基準を下回りました。

用語解説

- 実質赤字比率** 福祉、教育、まちづくりなど市町村の行政事務本体における赤字の程度を示す指標
- 連結実質赤字比率** 全ての会計の赤字と黒字を合算し、赤字額が黒字額を上回る場合にその程度を示す指標
- 実質公債費比率** 公債費およびこれに準ずる経費の大きさを示す指標
- 将来負担比率** 翌年度以降において負担することが確定している債務および負担が見込まれる債務の大きさを示す指標